

安全データシート 白色ワセリン

1. 製品（物質または混合物）および会社情報

GHSに関連する製品名：白色ワセリン

会社名	大洋製薬株式会社
住 所	〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-16
担当部門	お客様電話相談窓口
緊急時の電話番号	03-3818-4328
推奨用途と使用上の制限	医薬品

2. 危険有害性の要約

GHS分類	平成20年度 政府向けGHS分類ガイダンス（H20.9.5.版）
分類実施日	非該当
物理化学的危険性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分2B
健康に対する有害性	
GHSラベル要素	
絵表示	非該当
注意喚起語	警告
危険有害性情報	眼刺激
注意書き	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 消防法の規制に従うこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具等を着用すること。
応急措置	皮膚または髪に付着した場合：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 吸入した場合：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼に刺激を感じる場合又は眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。 火災の場合：消火するために水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類を使用すること。
保 管	容器を密閉し冷暗所で保管すること。
廃 棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報（物質または混合物）

物質

化学的特定名	ペトロラタム
別名	白色ワセリン
英語名	Petrolatum
C A S 番号	8009-03-8
化審法官法整理番号	(9)-1692
E C 番号	232-373-2
分子式（分子量）	C20-85 直鎖及び分子鎖炭化水素類混合物
含有濃度	1 0 0 %
用途	医薬（軟膏基剤），医薬部外品添加物（薬用石けん），化粧品等

4. 応急措置

皮膚（または髪）に付着した場合：

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。

吸入した場合：

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

経口摂取した場合：

口をすすぐこと。

最も重要な兆候及び症状：

データなし

応急措置をする者の保護：

データなし

眼に刺激を感じる場合又は眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類を使用すること。

使ってはならない消火剤：

棒状注水

本品による危険性：

熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

激しく加熱すると燃焼する。

特有の消火方法：

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護：

適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

緊急措置：

全ての着火源を取り除く。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立ち入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する予防措置：

環境中に放出してはならない。漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込めおよび浄化方法と機材：

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置：

全ての安全対策を読み理解するまで取扱わないこと。
消防法の規制に従うこと。
容器を密閉し冷暗所で保管すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
眼に入れないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具等を着用すること。

混触危険物質等安全な保管場所：

データなし。

8. 暴露防止および人に対する保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標：

管理濃度	未設定
許容濃度	日本産衛学会（2007 年度版） 3mg/m ³ （鉱油ミストとして発がん物質）

設備対策： 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備などを設ける。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具：

呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚および身体保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。

9. 物理的および化学的性質

外観（物理的状态、色など）

無色～白色のワックス状ペースト

融点・凝固点

38～54℃：Merck（14th, 2006），HSDB（2001）

沸点

302℃：ICSC（2002），ICSC（J）（2002）

引火点

182～221℃：ICSC（2002），ICSC（J）（2002）

自己反応性化学品 分類対象外

揮発性・自己反応性に関連する原子団を含んでいない。

自然発火温度 区分外

>290℃：ICSC（2002）

爆発限界

0.9 ～ 7 vol.%（空气中）（推定値）：ICSC（2002），ICSC（J）（2002）

蒸気圧

<1.3Pa（20℃）：ICSC（2002）

蒸気密度

データなし

比重

0.820～0.865（60℃, 25℃）：Merck（14th, 2006），HSDB（2001）

0.9g/cm³：ICSC（2002），ICSC（J）（2002）

溶解度

水：不溶：ICSC(J) (2002)

グリセロール、アルコール：不溶：Merck (14th, 2006), HSDB(2001)

ベンゼン、クロロフォルム、エーテル、二硫化炭素、油：可溶：Merck (14th, 2006), HSDB(2001)

水オクタノール分配係数

log P > 6：IUCLID (2000)

1 0．安定性および反応性

反応性：法規制に従った保管条件のもとで保管する場合、本品は安定である。
危険有害反応の可能性：データなし
避けるべき条件：データなし
混触危険物質：データなし
危険有害性のある分解生成物：データなし

1 1．有害性情報

急性毒性（経口） 分類できない

データなし。

急性毒性（経皮） 分類できない

データがなく分類できない。なお、パラフィンワックス（CAS No. 8002-74-2）との混合物（50/50）では、ウサギの LD50 値 3600mg/kg bw（IUCLID (2000)）、である。

急性毒性（吸入：ガス） 区分に該当しない（分類対象外）

半固体（semi solid (Merck (14th, 2006)））であり、常温で液体と思われる。

急性毒性（吸入：蒸気） 分類できない

データなし。

急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） 分類できない

データなし。

皮膚腐食性/刺激性 区分に該当しない

PATY (5th, 2001)で刺激性はなく皮膚試験の vehicle として使用されるとの記載があることから区分外とした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2 B

ウサギにおいて、評価結果「slightly irritating」である（IUCLID, (2000)）より区分 2B とした。

呼吸器感作性 分類できない

データなし。

皮膚感作性 区分に該当しない

ヒトにて、評価結果「not sensitizing」（IUCLID (2000)）、反復暴露により皮膚炎（dermatitis）はみられたが感作性ではない（IUCLID (2000)）、およびアレルギー性はなく、皮膚試験の vehicle として使用される（PATY (5th, 2001)）の記載がある。以上の結果から区分外とした。

生殖細胞変異原性 分類できない

データなし。

発がん性 分類できない

ラットの混餌試験（FDRL, about 3000mg/kg/day）において、白色物質 2 例および黄色物質 1 例（精製度の違い）にて発がん性は認められない（EHC20 (1982)）。マウスの経皮投与試験（80 週間, 25 and 50mg）にて、発がん性は認められなかった（IUCLID (2000)）。PATY では、精製度の高い物質の発がん性は殆どまたは認められないの記載がある（PATY (5th, 2001)）。EU 分類においては、「精製度の低いもの（黄色、琥珀色、茶色ワセリン）は、工業用として使われ、発がん性の多環式芳香族を含むことがある。」に基づき、Cat. 2（区分 1B 相当）である（EU-Annex I (access on 9. 2008)）。以上の結果、精製度の低い黄色物質に関する情報が十分に得られないことから分類できないとした。

生殖毒性 分類できない

データなし。

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 分類できない

ウサギの皮膚試験（24 時間暴露，4ml/kg）において毒性症状（剖検における異常または全身への作用（systemic effects））は認められないが、試験物質が paraffin wax（CAS No.8002-74-2）との混合物（50/50）である（IUCLID（2000））。得られた情報はこの 1 試験およびマウスの皮下投与試験（IUCLID（2000））のみであり、データ不足で分類できないとした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 分類できない

ラットの混餌試験（FDRL，2 年間，about 3000mg/kg/day（90 日補正 24000mg/kg/day））において、白色物質 2 例および黄色物質 1 例（精製度の違い）にて、毒性症状（行動、死亡率、血液項目、尿および臓器組織）に異常は認められない（IUCLID（2000））との記載より経口経路では区分外相当であるが、他経路の情報がなく分類できないとした。

誤えん有害性 分類できない

データなし。

1 2．環境影響情報

水生環境有害性（急性） 分類できない

データなし

水生環境有害性（長期間） 分類できない

データなし

オゾン層への有害性 分類できない

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていないため分類できない。

1 3．廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化などの処理を行なって、危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体が廃棄物処理を行なっている場合はそこに委託して処理する。

汚 染 容 器：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去すること。

1 4．輸送上の注意

国際規制

海上規制情報：非該当

航空規制情報：非該当

国際連合危険物輸送勧告 No.：非該当

国内規制

陸上規制情報：消防法の規定に従う。

海上規制情報：非該当

航空規制情報：非該当

特別な安全対策

移送時にはイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

重量物を上積みしない。

1 5. 適用法令

消防法：指定可燃物、可燃性固体類（法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4）

薬機法：本品は医薬品に分類されるため「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律が適用される。

1 6. その他の情報

参考文献 各データ毎に記載した。

参考情報

1)	経済産業省ウェブサイト 化学物質関連データベース https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/db.html
2)	N I T E 化学物質総合情報提供システム 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 N I T E - C H R I P (N I T E Chemical Risk Information Platform) https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
3)	厚生労働省 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（G H S） 改訂7版 仮訳 https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzenisei55/index.html
4)	厚生労働省 職場のあんぜんサイト G H S とは https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/ankg_ghs.htm
5)	化管法（JIS77253） 経済産業省ホームページ 化管法 S D S 標準的な書式 https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/msds/msds62.html

記載内容お取扱いの注意

この資料は2017年に国際連合が作成した「化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）第7版」に準拠して作成しておりますが、全ての情報を網羅しているものではなく、又、記載しております注意事項は当該製品の安全な取扱いを提供することを目的としたものであり、安全性等の保証をなすものではありません。